

中小企業タイムズ

3月号

2013年
第676/251号
(毎月1日発行)

今月の見どころ

- 1面 情報連絡員会議が開催される
3面 県内業況と動向について(1月の報告)
4・5面 組合の事業や活動をご紹介
- 7面 大学生が企業をレポート!
8面 旬なお知らせ「情報BOX」

定価100円
昭和36年4月10日
第三種郵便物認可
会員の購読料は賦課金の中に含まれます。

発行所 山梨県中小企業団体中央会 甲府市飯田2-2-1 中小企業会館4階 TEL 055(237)3215 FAX (237)3216
http://www.chuokai-yamanashi.or.jp e-mail webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp

2月の出来事

●時事

- 8日 笹子トンネルが全面開通
12日 グラム無差別襲撃事件
ロシア、チェリャビンスク州に隕石が落下
深刻な中国の大気汚染

●山梨県中央会ニュース

- 8日 事務連絡協議会新春交流会
13日 やまなし6次産業化交流会
15日 労務改善団体連合会新春交流会
18日 正副会長会議、情報連絡員会議

3月の予定

- 23日 第18回中小企業組合まつり
26日 第10回正副会長会議、中央会理事会



業界の景況について情報を交わす会場内

主催者あいさつをする
内藤悦次会長講師: ㈱商工組合中央金庫甲府支店
小俣力也支店長

業界を取り巻く経営状況等について情報交換

中央会では、各業界の景況情報の提供を依頼している情報連絡員を集めての会議を2月18日研修室で開催した。この会議は、年1回開催し、各業界の業況報告や今後の動向などについて情報交換をおこなっているもの。

最初に、株式会社商工組合中央金庫甲府支店の小俣力也支店長を講師に招き、「中小企業を取り巻く最近の経済・金融状況」と題して研修会を行った。

研修会では、全国の中小企業の景況動向や3月末で終了となる中小企業金融円滑化法の期限到来に伴う影響について詳細なデータに基づいた説明が行われた。また、本日から始動となった手形の電子化「でんさいネット」の紹介も併せて行われた。小俣支店長は、「設備投資について全国的に回復傾向にある。山梨県においては全国平均より11・4ポイント増となっているため、県内の景況回復に期待している。また、平成25年3月31日に期限を迎える中小企業金融円滑化法については、期限到来後もこれまでの金融機関としての取り組みや方針は変わらず中小企業のさまざまな資金ニーズに迅速に対応できるよう支援体制を整えている。」と講じた。

続いて、平成24年度における四半期の景況動向並びにDI値の推移について事務局より説明を行った後、内藤会長が進行役となり各業界や組合の現状と景況などについて情報交換を行い、出席した各情報連絡員より中小企業を取り巻く厳しい経営環境が報告された。

主な報告は次とおり

【旅客運送業】海外の原油高に加え円安の影響で燃料の高騰が止まらない。受注の低価格競争が激化している。【鉄骨工事業】県内の多くの工事物件が、受注価格の下落等により県外業者に流れている。発注先は、もっと地域性を重視

して欲しい。【警備業】警備員の労務単価は、他の業種より遙かに低い。この低い単価が基礎となって受注額になるため、利益に結びつかず厳しい状況である。【廃棄物処理業】収集運搬の認可されている業者ではなく古物商の許可を持っている事業者が安価に回収業務を行っているためにトラブルが絶えない。

燃料の高騰により経営は厳しい状況である。【石油小売業】燃料の高騰が続いている。さらに、消費者の節約志向や省エネカーの普及で廃業が一段と増すと予測する。【電気機械器具小売業】省エネ家電やLED等が順調に推移している。【生鮮小売業】郊外の大型店の増加に伴い売上が年々減少している。組合員の転廃業が加速している。【ジュエリー製品卸売業】山梨県が宝飾の産地であることを消費者へPRするため、産地ブランド「Koo-fu」に取り組みんでおり、今春から東京大手百貨店で販売を開始する。【紙・紙製品卸売業】円安により価格は上昇しているが、中国の内需低迷や経済摩擦などにより安定的な輸出量の確保は難しい。また、本や雑誌などの電子化に伴い排紙量が減少している。【印刷・関連業】デジタルコンテンツなど新たな分野での収益確保を模索している。【木材・木製品製造業】輸入木材が値上げ傾向にある。また、大手プレカット企業が県内に進出してきているため、今後は仕事量の確保が難しくなると予測する。【外衣・シャツ製造業】婦人服については、納入先の減少(デパートの合併や小売店の減少)や海外資本メーカーの出店もあり売上が減少している。【食料品製造業】円安のため原材料の高騰が利益確保を招いている。また、海外へ販路開拓を行っている組合員もいる。

(関連: 直近の1月の県内景況は3面に掲載)

平成24年度情報連絡員会議を開催

年度末後の事務手続きの流れ

3月を事業年度末にしている組合が多いと思いますが、遅滞なく事務手続きが完了できるよう、「年度末後の事務手続きの流れ」を参考に適切な事務処理を行なって下さい。なお、事務処理等でご不明な点がございましたら、中央会にご相談下さい。

年度末後の事務手続きの流れ

「決算関係書類」「事業報告書」の作成

財産目録、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案（又は損失処理案）及び事業報告書の作成。



監事による監査

「決算関係書類」「事業報告書（業務監査を行う場合）」について監事の監査を受ける。

監事は監査報告書を作成し、「決算関係書類等」の全部を受領した日から4週間を経過した日に理事に通知。但し、監事が自主的に4週間を下回る期間で監査を行い、理事に監査報告を通知することは可能。



理事会招集通知の発出

理事長が理事会の会日の1週間前（定款で短縮可）までに各理事に発出（監事が業務監査権限を持つ場合は監事を含む）。理事（監事が業務監査権限を持つ場合は監事を含む）全員の同意があれば招集手続きの省略可。



理事会の開催

通常総会の開催日時、場所・議案の議決。監事の監査を受けた「決算関係書類」「事業報告書（業務監査をした場合）」の承認。通常総会の会日の2週間前までに「決算関係書類」「事業報告書」を主たる組合事務所に、写しを従たる事務所に備置く（5年間）。



総会招集通知の発出

理事長が通常総会会日の10日前までに（定款で短縮可）までに組合員に到達するよう発出。議案の他、会議の日時、場所等会議の目的事項を示すとともに、理事会の承認を受けた「決算関係書類」「事業報告書」及び「監査報告書」を添付。組合員全員の同意があれば招集手続きの省略可（この場合、招集通知発出の際に必要な添付書類も不要）。



通常総会の開催 → 理事会開催 ※役員改選（代表理事、副理事長、専務理事等）を行った場合。



通常総会議事録の作成、（役員改選を行った場合）役員変更届出書・理事会議事録の作成

※変更登記が発生していれば…

登記事項〈名称、主たる事務所、事業、公告の方法、出資1口の金額、出資払込の方法、地区〉に変更が生じた場合は、所管行政庁からの定款変更認可後2週間以内に変更登記。

代表理事の変更は、就任日から2週間以内に変更登記。

注：同一人物が留任しても変更登記が必要。

※定款変更を行っていれば…

所管行政庁に①定款変更理由書 ②定款変更条文新旧対照表 ③総会議事録の謄本を提出。



通常総会終了後、2週間以内に決算関係書類・事業報告書・総会議事録を所管行政庁へ提出

●所管行政庁への提出書類

- ①決算関係書類提出書（鑑）
- ②決算関係書類（財産目録、貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案又は損失処理案）
- ③事業報告書 ④総会議事録の謄本

注：所管行政庁への決算関係書類の提出を忘れずにお願いします。

”職権解散”の対象となります。



事業年度終了後、原則2ヶ月以内に税務申告書類の提出・納税

- ・法人税…税務署
- ・法人県民税+事業税…県税事務所
- ・法人市（町村）民税…市町村税務課

山梨らしい産業

ibuki

息吹

山梨県は、静岡県と共同で国民のシンボルである富士山をその豊かな自然と美しい景観、歴史や文化を後世に引き継ぐために2月23日を「富士山の日」に制定した。

今後は、両県によって富士山環境保全活動や富士山世界文化遺産登録等様々な取組みがなされることとなるが、これを契機に地域資源を生かした産業が根付くことを期待したい。

富士山に限らず本県は、南アルプス、ハケ岳などの山々や富士五湖など豊かな自然資源を有し、それらが生み出す地形や良質な水資源がフルーツ王国に代表されるように農産物の生産にも恩恵をもたらしている。

県民にとっては当たり前になっている農村風景や周辺の山々であるが、これらを「貴重な資源」として捉え、近年農林水産物等の地域資源を活用した商品開発や地域特産品のブランド化など農業者と地域中小企業者が連携する「農商工連携」や農業者自らが生産・加工・販売まで手がける「6次産業化」に関心が高まっている。

本会においても「山梨6次産業化サポートセンター」を開設し、様々な支援を行う中で、農業者と地域中小企業者が連携し、新たな事業展開・新産業の創出の可能性をサポートしている。残念ながら山梨の耕作放棄地は全国第2位とのこと。しかしそれらを活用できる資源として考えるなら、新たな担い手として農業に意欲的な人の受け入れや農業分野への参入を目指す企業の受け皿となりえる。

山梨の立地や自然など特色を生かした山梨らしい新産業が創出されることを大いに期待したい。

●山梨県中小企業団体中央会情報連絡員報告

本県の1月の景況は、全業種のDI値が、売上高－24(前年同月比+8)、収益状況－38(前年同月比－8)、景況感－30(前年同月比+2)となっており、業種別のDI値では製造業で、売上高－40(前年同月比±0)、収益状況は－50(前年同月比－15)、景況感は－35(前年同月比+5)。非製造業で、売上高－13(前年同月比+14)、収益状況－30(前年同月比－3)、景況感－27(前年同月比±0)となっている。

全体の前年同月比では売上高、景況感は改善の方向にあるものの収益状況においては悪化傾向が続いている。

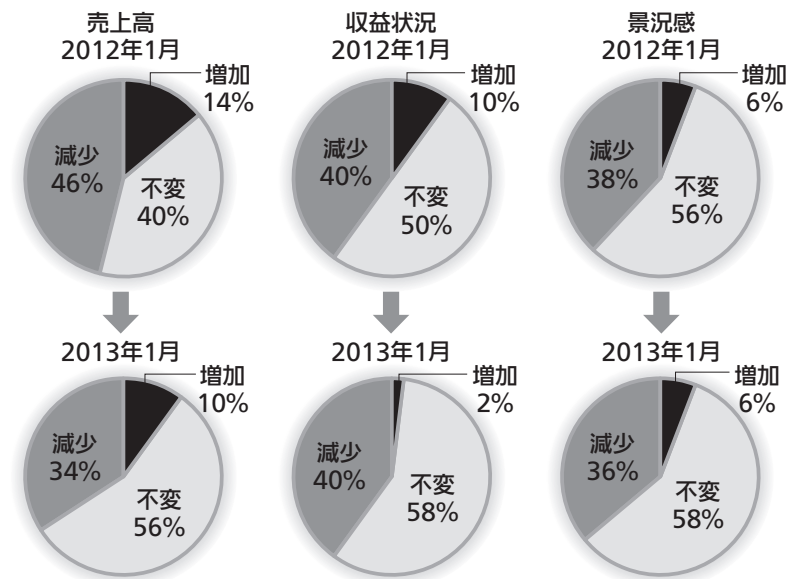
前月比では、製造業では景況感が20ポイントと大きく改善したが売上高、収益状況ともに前月から改善していない。一方、非製造業は売上高が7ポイント、収益状況が3ポイント、景況感は10ポイントと全ての項目でDI値が好転した。

情報連絡員による県内の1月の業況報告は、季節的な要因も含め好調となった業種が一部で見受けられるものの、全体的に厳しい状況が続いている。製造業では、円安による輸出への期待が高まる一方で、原材料や物価の上昇により利益確保が難しいとの報告が多かった。また、依然として受注・仕事量の減少等に歯止めがかからず、雇用調整に踏み切らざるを得ないと言う報告もあった。

非製造業では、中央自動車道の笹子トンネル天井板落下事故の影響による売上の落ち込みが宿泊業を中心に報告された。

また、コスト増や消費意欲の停滞が依然として続いており収益に結びつかないなど先行きへの不安が情報連絡員からの報告で色濃く見受けられる結果となった。

データから見た業界の動き (平成25年1月分)



業界の動き

平成25年
1月分



トピックス

情報連絡員には、景気動向の変化、現状とその背景などについて、業界または組合員全体の動向・予測・売上高・原材料等経費・資金繰りなどについてコメントを求めた。

業界から一言

●製造業

●食料品(水産物加工)／自社製品のギフトは横ばいだが、伊勢エビや鮑等の生鮮の取扱いが好調のため前年同月比120%と伸長した。しかし、円安による原料や燃料費の値上げがコスト増の要因になると予測する。

●食料品(洋菓子製造)／円安から輸出が倍増。OEMや自社製品も好調のため売上は前年同月比127.5%。

●食料品(製麺)／毎年1月は観光客の減少に伴い売上が減少するが、今年は笹子トンネル天井板崩落

事故の影響もあり例年以上に売上が落ち込んでいる。

●食料品(菓子)／年々売上が減少している。

●繊維・同製品(織物)／絹糸が値上がりしている上に、円安が重なり本絹ネクタイの採算が悪化している。材料や燃料等の値上がりにより利益確保が厳しい。

●木材・木製品製造／円安による輸入木材の値上げがすでに始まっており、2月から売値の上昇を行う予定。

●家具製造／昨年末からの円安による諸物価の高騰や消費税増税を控え、製造物のコストアップ要因が目白押しとなり中小企業の経営圧迫が心配される。

●窯業・土石(生コン)／リニア特需の反動もあり売上は前年同月比81%。今後は、中部横断自動車道建設工事により峡南地域

のコンクリート需要は増すものの、その他は減少する見通し。

●鉄鋼・金属(1)／電気・電子・半導体関連は、仕事量激減のため雇用調整を実施。自動車関連は4月頃から昨年並みに回復する見込み。輸出製品は、円安でよいが生産量が上がらない。

●その他(貴金属・宝石)／円安による地金の高騰が消費の落ち込みを呼び、運転資金の確保が難しくなると思われる。

●非製造業

●卸売(紙製品)／中国の景況に大きく左右される。

●卸売(ジュエリー)／国際宝飾展へは本県から多数の業者が出展し売上も好調だった。しかし、地金の高騰が商品価格に反映され、消費者の購買意欲に影響がでることを懸念する。

●小売(青果)／荷動きが少なく業界全体が厳しい状況にある。

●小売(食肉)／消費不振が続いている。特に牛肉の消費は回復の兆しさえ見えない。

●小売(水産物)／笹子トンネル天井板崩落事故や大雪の影響により売上が前年より10%減少している。また、円安による輸入鮮魚等の値上がりが懸念される。

●小売(石油)／ガソリン、軽油は年末年始の帰省や行楽等により需要が増加。灯油も寒気や大雪等により需要増加。原油価格が若干値下がりしているが、替レートの円安ドル高により輸入コストが値上がりしたため各給油所は1リットルあたり2〜3円程度値上げした。

●商店街(1)／中央道笹子トンネルの崩落事故の影響によりビジネス客や観光客が極端に減少した。また、忘新年会ともに例年を下回った。

●運輸(トラック)／円安による燃料価格の高騰が、この先どう影響してくるのか不安である。

●運送(トラック)／円安による燃料価格の高騰が、この先どう影響してくるのか不安である。

声

業界の

●河口湖温泉旅館協同組合

理事長 外川 誠氏

業界の現況は？

観光業界は、景気による影響を受けやすい業種であるため、全国的に厳しい状況にあります。本県の観光においても、昨年12月、本年1月は笹子トンネル事故の影響を受けましたが、2月以降は順調に回復しており、河口湖周辺の観光業者は例年に近い業績をあげております。これは、都心から比較的にアクセスしやすく、富士山や湖といった豊かな自然があることに加え、山梨県や富士河口湖町等との連携による観光キャンペーンの実施、テレビやマスコミ等の媒体によるパブリシティ効果年間を通して各種イベントを継続的に実施していることが大きな要因といえます。

しかし、海外の観光客については、昨年の尖閣諸島の問題による日中関係の冷え込みが宿泊業界の大きなマイナス要因となっています。今後は、今以上にアジア各国に販路を広げて、積極的なPR活動が急務となっています。

組合の活動

河口湖周辺のイベントや味覚情報を載せたパンフレットの作成、河口湖周辺の観光業者や行政等と連携し、当地で実施されるイベントを積極的に開催しています。昨年で12年目を迎えた恒例の富士山ご来光バスツアー、第1回キラキラ河口湖秋物語、河口湖ノルディックウォーク協会が企画したノルディックウォークにも積極的に参加し、宿泊客にPRしてきました。

今後の展開は？

昨年実施した「キラキラ河口湖秋物語」を継続していくなど、各種イベント等を通して河口湖周辺の活性化につなげていきたいと思っています。

また、本年は富士山の世界遺産登録が期待される年でもあり、国内はもとより、海外からも多くの観光客が訪れると思います。来ていただいたお客様に喜んでいただく、感動していただくために、一層の「心のおもてなし」に重点を置き、質の高い観光地を目指して、地域全体で取り組んでいきたいと思っています。



河口湖温泉旅館から見える富士山

ギフトショー春2013に 出展

ACTIVE KUMIAI

富士吉田織物協同組合



ギフトショー出展の様子

2月6日（水）から8日（金）にかけて、東京ビッグサイトにおいて、第75回東京インターナショナル・ギフト・ショー春2013が開催され、郡内の織物関係では、富士吉田織物協同組合（勝保明理事長）の4企業をはじめ、西桂織物工業協同組合の横田商店、農商工連携などの取り組みを行っているフジチギラが出展した。

富士吉田織物協同組合は今回のギフトショーで初めて、シヨップバイヤー等の小売業をターゲットとしたトレンド志向の強いメーカーが多く出展する「フアブリックデコレーションフェア」のブースに出展し、たくさん注目を集めた。

自社製品の製造、販売に力を入れているメーカー4社も出展した。前田源商店は、オーガニックコットンを使用した自社ブランド「KAIS FIRM」を展示。田辺織物は、若手デザイナーによる、現代のライフスタイルに合わせたオリジナル座布団ブランド「COCIOROSI」、光織物は、産学官共同開発企画から生まれた「Kichijimu」ブランドを展示。舟久保織物は、昨年サンブル出展し好評であった自社ブランド「harotune」を今年はバイヤーの要望に即時対応できるように生産体制を整え、展示した。

本県の織物産業は縮小傾向が続いているが、産地が従来行ってきた商流であるOEMの形態から脱却し、小回りが効くという中小企業の強みを発揮した自社ブランドの比率を高めようという機運が盛り上がりつつある。



出展を視察する勝保理事長

―創立40周年記念式典― 組合員、関係者らと共に 更なる飛躍を誓う！

ACTIVE KUMIAI

山梨県カーリサイクル協同組合



山梨県カーリサイクル（協） 組合員一同

山梨県カーリサイクル協同組合（保坂勇理事長）は、去る2月22日（金）、ホテル談露館にて「創立40周年記念式典」を開催した。

本組合は昭和45年、全国中古自動車部品連合会の「山梨県支部」として、県内業者16社で組織化した。その後、これまで有償にて取引されていた使用済み自動車、法改正により、処分に費用が発生する廃棄物としての位置付けとなり（使用済み自動車の逆有償化）、各社には産業廃棄物収集・運搬の許可業者としての登録が義務づけられたことにもない、許可業者の資格取得のために県の関連機関からの協力を得て、組合員が一致団結し、当時の組合員全社が山梨県の許可業者としての資格を取得することができた。そして平成10年、カーエアコン等の処理時に発生するフロン（共同処理事業、また使用済み自動車から出る資源の共同販売事業を主とする「山梨県カーリサイクル協同組合」として法人化した。

本組合では、以前より、従来の組合事業に加え、自動車リサイクル法の法令遵守を目的とする適正処理の推進、不法投棄された使用済み自動車やタイヤ等の回収・処理を行うボランティア活動にも積極的に取り組んできた。また、東日本大震災時においては、被災地で使用不能となった自動車の運搬処理作業にも協力してきた。

今回の式典に際し、保坂理事長は「これまで、当業界では様々な困難や課題があった。しかし、そのような時こそ組合員一人一人が一致団結し、また、関係団体からの協力にも助けられ、その困難や課題を乗り越えることができた。今後とも組合員の組織力、関係団体からの支援等により、当業界が更なる飛躍を果たせるように努力していきたい。」と述べていた。



挨拶を述べる保坂理事長

成功企業の秘訣を学ぶ

ACTIVE KUMIAI

都留機械金属工業協同組合



桜井甘精堂の視察研修

都留機械金属工業協同組合（木村勝幸理事長）は、平成25年2月17日、18日の両日、中央会の緊急課題対応集中指導事業の一環で視察研修事業を実施した。

当該組合を取り巻く環境は、日本経済の長引く不況、特に円高の影響による取引先企業の海外進出及び海外からの部品調達の影響を受け、年々売上高が減少している。また、中国国内における日本製品不買運動の影響を受け、ますます先行きが厳しくなっている。

このような中、一部の企業においては後継者も育っており、親世代の技術・手法と若手や女性の感性・IT技術との融合による活性化が今後の課題となっている。

今回の研修では、創業二百年を誇る老舗企業である「桜井甘精堂」が伝統に甘んじることなく時代の変化に対応し、常に新しい製品を考え、革新を続けている企業理念を学んだ。加えて、景気の影響を受けにくく、中小企業のメーカーが多い食品製造機器製造への参入の可能性を探った。

二日目の「エーワン精密」は、無借金経営で最強の20億円企業と呼ばれている。徹底した「コスト管理」「人事管理」「時間管理」を行っており、その手法について学んだ。

今後は、今回の研修を活かし、若手を中心にIT活用により、三つの管理を推進していく手法、また、プレゼンテーションにITを活用する手法についての研修を行っていく予定である。



エーワン精密の工場見学

TOPICS

TOPICS

TOPICS

TOPICS

山梨県印刷工業組合

関東甲信越静地区印刷協議会「年次大会」 10年ぶりの山梨県開催に 向けて、着々と準備が進む！

ACTIVE KUMIAI



10年前の本県での大会の様子

山梨県印刷工業組合（佐野龍一理事長）は、本年7月5日、6日に本県で開催される「関東甲信越静地区印刷協議会」第61回年次大会」に向けて、着々と準備を進めている。この年次大会は、当協議会を構成する関東甲信越静10県の各印刷工業組合が一堂に会し開催されるものであり、本県では10年ぶりの開催となる。

年次大会では、各県の理事長で組織される「理事長会」や、当業界の各分野（経営革新・マーケティング・環境・労務・組織活性化、教育・研修、CSR推進、官公需対策）のテーマについて話し合われる「分科会」に分かれ、各県の現状や課題、今後の対策について話し合う。その後、「全体会議」にて理事長会及び分科会にて取りまとめた内容について報告を行うことにより、現状や課題等についての共通認識を持ち、組織力を活かして国や各関係団体に対し、経営環境の改善等を訴えていく。

本組合では今回の年次大会に向け、「昨年の秋頃より準備を行っている。組合内に関プロ準備委員会を立ち上げ、執行部とともに打合せを進め、原案の取りまとめ、大会準備・運営の役割分担、案内資料の作成、大会会場の視察等を行っている。

本組合の佐野理事長は、「今回の年次大会のテーマを『富士の国山梨で、確認しよう印刷の底力。』とした。業態

変革が進む中、あらためて印刷の魅力を確認し、この山梨の地での大会が、当業界の更なる発展の源となるようなもの」としたい。また、10年

ぶりにこの山梨で大会が行われ、県外から多くの出席者がみえられるため、心を込めたおもてなしを行い、本組合の団結力を各県の方々に伝えたい。」と述べていた。



会場視察の様子

TOPICS

山梨県一般廃棄物協会

従業員向け講習会を開催

ACTIVE KUMIAI

一般社団法人山梨県一般廃棄物協会（会長 北杜市環境事業協同組合 篠原充理事長）では2月2日に、会員事業者で廃棄物の収集運搬業務に携わっている従業員を対象に講習会を開催した。



運行管理講習の石川先生

この講習会には34名が参加し、業務上必要となる車両の運行上の安全対策と労働災害に防止に関する講義を2時間半にわたって受けた。

「車両の運行管理上の安全対策」の講習では、独立行政法人自動車事故対策機構の石川智博先生が講師となり、認知・判断・操作という自動車運転のメカニズムと見誤り・思い込み・過信・疲労といった人間の起こしやすいミスから事故に至った「真因」を探ることで事故防止につなげていく取り組みについて説明があった。

また、「一般廃棄物処理業務における労働災害防止」の講習では、特定社会保険労務士の加藤里美先生が講師となり、労働災害の現状と防止策について説明があった。特に労働災害防止については、出席者がグループに分かれて「KY（危険予知）活動」を職場で取り入れるための実習も行った。

篠原会長は、「近年、一般廃棄物処理業界にも法規制を

守らない（知らない）異業種事業者の参

入が横行している。協会として一般廃棄

物処理の作業実務に関する講習をテー

マと内容を変えながら継続して行うこと

で、会員事業所の業

務の効率化と従業

員の資質向上を図り、

一般廃棄物処理業界

の適正化をリードし

ていきたい。」と

KY（危険予知）活動の実習発表



山梨県中小企業団体青年中央会

平成24年度

第2回関ブロ代表者会議（長野県）への参加

1都10県の青年中央会で組織される関東甲信越静ブロック中小企業青年中央会は、2月16日（土）、今年度幹事県である長野県の長野市・メルパルク長野にて平成24年度第2回代表者会議を開催した。総勢57名が出席し、山梨県からも山梨県長はじめ4名が参加した。



第2回代表者会議

代表者会議では、全国中小企業青年中央会で検討されている綱領と創立20周年の記念誌の発行について関ブロからの出向役員より来年度に向けての経過報告がされ、関ブロ及び各県のスタンスが話し合われた。また、関ブロ事業については、千葉県より栃木県との連携事例が発表された。これは、千葉県の青年中央会と栃木県の塩原温泉旅館協同組合青年部とのコラボ企画で特典付きの宿泊プランの提供となっている。県域を越えた関ブロの事業での交流における今後の展開と可能性について議論が交わされた。

会議後に行われた研修会の第1部では、「伝統産業飯田水引の取り組みについて」と題し、（有）関島水引店の関島正浩氏より飯田水引の歴史の講演と代表的な淡路結びの製作体験が行われた。参加者は色とりどりの紐を使い、熱心に楽しく製作に励んでいた。第2部では、長野県中央会より「長野県内の地場産業・伝統産業の概要」について、資料に基づき発表があった。

2日目は、朝食時の情報交換会の後、視察研修として戸隠のそばであい館を訪れ、そば打ち体験が行われた。

2日間の体験と長野県の産業PRを通じて、長野県を知る有意義な機会となったと同時に、関ブロの交流については、2回行われる会議の場だけでなく、様々な交流を通じて事業を展開していくことと決意が深められた。来年度の関東

甲信越静ブロック中小企業青年中央会代表者会議は、栃木県が幹事となり開催される。



飯田水引をテーマとした研修会

飯田水引をテーマとした研修会

●山梨県中小企業労務改善団体連合会



講演する上田氏

り組んでいる県内の労務改善団体から31名が出席し、「チーム力強化に必要な競争意識とは」をテーマに新春交流会が開催された。

講師を務めた上田誠仁氏（山梨学院大学教授・山梨学院大学陸上競技部 監督）は当時無名の山梨学院大学陸上競技部監督に26歳の若さで就任し、1987年に同大学陸上競技部を箱根駅伝初出場に導き、1992年大会に初の総合優勝、その後2連覇を含め3度の総合優勝に導くなど輝かしい実績を挙げている。

講演で上田氏は「陸上に必要な能力とは、より早く、より高く、より遠くであり、単純に考えれば駅伝では持ちタイムの早い大学が有利に決まっている。しかし、箱根駅伝で優勝するためには、単純な速さ、強さを超えた『たくましさ』を備えた大学が優勝することが多く、今年度についても、昨年度覇者の東洋大学や持ちタイム最速の駒澤大学を押さえて予選会から勝ち上がった日本体育大学が優勝している。」など、気持ちの強さが駅伝において非常に重要であると語った。

講演会終了後には交流会が開催され、山梨県産業労働部労政雇用課の塚原稔課長、山梨県山梨県中小企業団体中央会の内藤悦次会長が来賓として参加し、労務改善集団の日頃の活動についての感謝の意を述べた。



あいさつする大宮山会長

新春講演会・交流会開催

山梨県中小企業労務改善団体連合会（会長：大宮山磐）は、2月15日（金）笛吹市石和町「ホテル千石」において、新春講演会・交流会を開催した。

地区や業種ごとに従業員への福利厚生事業や職場内の環境改善事業を実施し、労務改善推進運動に取り組んでいる



ボウリングを通じて、親睦が深められた

本会会員組合等の事務局で組織する山梨県中小企業組合等事務連絡協議会（菅原五男会長）は、去る2月8日（金）、大丸パークレーンズにおいて新春ボウリング大会と、新春交流会を開催した。これは組合事務局間の更なる親睦交流、情報交換の場として、昨年、同様の内容で開催したところ、会員の方々より大変好評を頂き、今年も引き続き開催したものである。今回は新春交流会に、来賓として本会内藤会長も出席し、組合事務局の現状や課題、展望について話し合われた。

新春ボウリング大会では、若い頃にボウリング技術を追求した方も多く、真剣にピンに向けボウルを放っていた。また、会員同士が混在するチーム構成を行い、普段ではなかなか交流の機会を持つことのない各組合事務局間の親睦を深める事ができた。さらに、ボウリング大会の上位入賞者には、当協議会より賞品が贈呈された。

その後行われた新春交流会では、食事をしみながら情報交換が行われ、組合ごとに違う組合事業、活性化策等に

ついての情報交換がなされ、組合事務局間の更なる連携強化に繋がった。

今回のボウリング大会・交流会を終えて菅原会長は、「大変有意義な時間を過ごせたと思う。普段はなかなか情報交換の機会を得ることができない組合事務局間が、このような機会に情報交換をすることにより、更なる組合活性化策のヒントを掴めると思う。今後もこのような、組合事務局間の情報交換の場を積極的に設けていきたい。」と述べていた。



来賓として挨拶を述べる内藤会長

新春ボウリング大会・新春交流会を開催！

組合事務局間の親睦を深める

●山梨県中小企業組合等事務連絡協議会

絆

トラック運送の役割は変わっていない。必要とされている物を、必要としている場所に。生産地から消費地へ。365日24時間、休むことなく運ぶこと。それは国内物流の9割以上を担う物流のプロとしての責任から。しかし、私たちは考えている。日本中を繋ぐ架け橋になれたらいい。人と人との心を繋ぐ絆に、少しでも役立てばいい。



絆と心を荷台にのせて
走れ！トラック 緑の道を

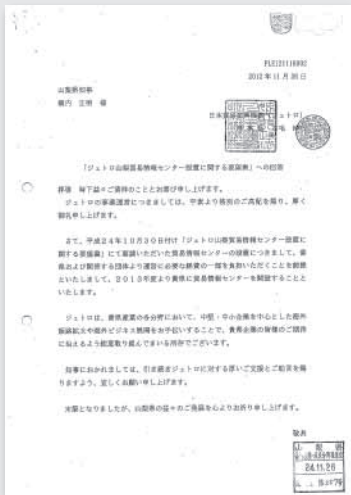
平成24年度標語最優秀作品

（社）山梨県トラック協会 （公社）全日本トラック協会

●ジェトロ（独立行政法人日本貿易振興機構）

ジェトロ山梨振興協議会が新たに発足

—— 山梨貿易情報センター（ジェトロ山梨）の開設に向けて ——



昨年11月のジェトロ（独立行政法人日本貿易振興機構）からの山梨事務所の設置決定の回答を受け、去る2月12日にアイメッセ山梨で開催されたジェトロ山梨設置推進協議会において、これまでジェトロ事務所の県内設置を求めて活動してきた同協議会の解散が決定し、新たにジェトロ山梨振興協議会が山梨県及び16の経済団体を会員に発足した。

会議では、中央会の内藤悦次会長が振興協議会の会長に、小林寛樹商工会連合会長が副会長に選任された。

内陸県である山梨においては、地域経済活性化のための新たな取り組みとして企業等の海外展開が必要とされており、振興協議会ではジェトロ山梨の活動を連携支援することで、県内企業等の振興に寄与していく。

ジェトロ山梨はアイメッセ山梨内に事務局を置き、4月から活動開始となる。

経営者に 聞きました!

学生企業レポート 第1回

このコーナーは、学生が県内企業の経営者を訪問し、企業の経営方針や求めている人材等について直接聞き取ることで、学生と企業の相互理解を促進し、雇用のミスマッチ等を解消することを目的としています。
第1回目となる今回は、山梨英和大学人間文化学部3年生 木曽川加奈さんが、長谷川醸造㈱代表取締役 長谷川正一郎氏にお話をうかがいました。



学生

山梨英和大学
人間文化学部

3年 木曽川 加奈さん

仕事を好きになるには 続けること

経営者

長谷川醸造㈱
代表取締役

長谷川 正一郎氏



▶学生

はじめに、会社の概要についてお聞かせ下さい。

▶経営者

当社は1906年に創業し、当初は味噌や醤油などの醸造業を行っていました。50年ほど前からスーパーの台頭により、味噌や醤油が特売で安く売られるようになったため、山梨県が日本一の生産量を誇る小梅を漬物として加工するようになり、現在では売上の90%を小梅が占めています。

また、新商品開発にも積極的に取り組んでおり「完熟梅ジャム」「青梅ジャム」などを作っています。ジャムを作るには酸味の強い果物の方が向いており、梅はジャムにするには最適な食材です。ただ、この梅ジャムはパンよりも、バターや生クリームなどに合うため、スーパーなどには卸さず大手のケーキ屋などに卸したいと考えています。



山梨は全国でも有数の小梅の産地で、甲州小梅の名称で有名です。
甲州小梅は、小梅の中で一番種が小さく、果肉の厚い品種で、当社では山梨特産の完熟した甲州小梅100%使っています。

▶学生

従業員を採用する上で重視すること、従業員に望むことは何でしょうか?

▶経営者

当社では採用において私が全員を面接しますが、今まで何をやってきたのか、どのような役割・ポジションで取

り組んだのかを重視します。人のために行動してきた人を採用したいと考えます。従業員と一緒に働く仲間ですので、共通言語を持てるかが重要です。人の話を聞くことができ、思っていることを話すことができ、理解し行動できること、また正義感を持っていることが大事です。これからはコミュニケーション能力や人間力が高い人が選ばれると思います。当社は人が辞めない会社であり、従業員を安易に解雇することは考えていません。人を育てることが経営者の使命と考えており、基本的に解雇をしたことがなく、ほとんどの従業員が定年まで勤め上げています。

▶学生

近年、新入社員の離職率が高く、企業との雇用のミスマッチに原因の一旦があるとされていますが?

▶経営者

離職率が高いのは、単に仕事に合わないから続かないという事では無いと思います。例えば、戦後などは自分で仕事を探すのではなく、実家の跡を継ぐ、親に行けと言われた会社に就職するなど自分の意見がありませんでした。その中で一生の仕事として勤め上げる人が多くいます。自分に合う仕事に出会うのは難しいと思います。それよりも会社と与えられた仕事を好きになる努力ができるかだと思います。辞めない覚悟を持って3年間勤める中で嫌なことや良いことを経験することにより、仕事のよろこびがわかり、好きになれば工夫をし、技術が上がるという事だと思います。

大田区の町工場の技術者も同様だと思うのです。日本一の技術、世界一の技術を持った職人がごろごろいます。

▶学生

御社の描く将来像は?

▶経営者

学生が企業を選ぶ上で、その会社に経営理念があるかが大事です。当社の経営理念は「おいしくて安全で安心な食品の提供を通して地域社会に貢献する」です。原料の小梅を日本で一番高く買う会社を目指しています。また、南アルプス市には果樹などたくさんの農産物がありますので、将来的にはそれを加工することにより地元が潤うような仕事をしたいと思います。しょっぱくて酸っぱい日本特有の味である梅干しを守り、当社の梅で日本人を健康にしたいと思います。また、社員が「長谷川醸造に勤めている」と胸を張って言える、またそれがステータスになるような会社を目指します。

取材を終えて...

今回の訪問を通して、就職先を選ぶ基準が変わりました。就職活動を始めて、自分に合った企業を選ぶようにと言われていました。しかし、自分に合った仕事など無く、自分の努力で仕事を好きにならなくてはいいけません。自分に合った企業を選ぶだけでなく、どれだけ好きになれるような企業かで就職先を探そうと考えるようになりました。また、理念がちゃんとある会社に就職したいと思いました。



明日を、かなえる。

みんなのために、ひとりのために

しんきん
バンク

Face to Face

山梨信用金庫
(055-235-0311)

甲府信用金庫
(055-222-0231)

しんきんキャッシュカードなら、全国のしんきんATMで、平日・土曜のご利用手数料が無料で、ご利用できます。(一部対象外のATMがございます。)

シルバー派遣事業

シルバー人材センター連合では、受託事業に加え「臨時的かつ短期的またはその他の軽易な業務」の基本原則を守りながら、シルバー派遣事業を展開することで、会員皆様の豊富な経験や知識を活かしていただける就業機会を増や

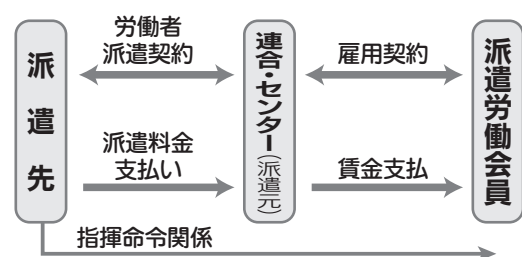
しました。就業を通じ、社会への参画意識や生きがいを感じていただける機会の増大を目指します。

詳しくは、連合会までお問い合わせ下さい。



シルバー派遣事業について

下図のとおり、派遣就業期間中は派遣労働会員となります。派遣就業の期間中は、会員とシルバー人材センター連合の間に雇用関係が生じ、シルバー人材センター連合(雇用主)から賃金の支払いなどがあります。また、派遣先から日常的な業務の指示や就業時間等の管理を受けます。これを指揮命令関係と呼びます。



公益社団法人山梨県シルバー人材センター連合会

〒400-0035 甲府市飯田3丁目3-28 Tel.055-228-8383

退職者紹介

退職

原 光彦

事業継続計画普及促進事業
BCP普及員

佐野千可子

事業継続計画普及促進事業
BCP普及員

●平成25年1月31日付

山梨の魅力 再発見

第18回

中小企業組合まつり開催!!

入場
無料

テーマ

不易流行

～ふえきりゅうこう～

日時

平成25年3月23日(土) 午前9:00～

場所

アイメッセ山梨(甲府市大津町)

内容
(予定)

●ご当地グルメ大集合!

『ご当地グルメフェアinアイメッセ山梨』

●選手とフリースロー対決ができる!!

『山梨クィーンビーズ登場!』

●山梨のゆるキャラ大集合

『ゆるく、そしてかわいい!!』

●お買い得品盛りだくさん♪

『山梨の特産品販売』

●先着2013名様限定!

『来場者プレゼント』

…その他、
楽しいイベント
盛りだくさん!
是非、ご来場
下さい!



●主催・お問い合わせ先

山梨県中小企業団体中央会 TEL/055-237-3215 URL/http://www.chuokai-yamanashi.or.jp/

山梨を支える企業とともに

一経営安定関連5号一

国際的な金融不安等を契機とした現下の厳しい経済状況において、例外業種を除き原則として全ての業種に属する中小企業者の方(注)の資金繰りを、本制度でサポートします。

(注)売上高の減少等一定の要件を満たす特定中小企業者

保証割合 100%(全部保証)
保証料率 年0.9%(中小企業会計割引適用時0.8%)
必要書類 通常の申込書類のほか、市町村が発行する認定書(5号認定)

取扱期間 全業種指定は 平成24年9月30日まで

一東日本大震災復興緊急保証一

東日本大震災の影響により被害を受けた中小企業者の方に対して、事業再建または経営の安定に必要な資金について本制度でサポートします。

保証割合 100%(全部保証)
保証料率 年0.8%(中小企業会計割引適用時0.7%)
必要書類 通常の申込書類のほか、罹災証明書または認定書
取扱期間 平成23年3月11日より平成25年3月31日まで



山梨県信用保証協会

本店 甲府市飯田2-2-1 (山梨県中小企業会館)
TEL.055-235-9700 FAX.055-232-0160
URL:http://www.yiso.or.jp/~shinpo/
E-mail:shinpo-yamanashi@rondo.ocn.ne.jp
富士吉田支店 富士吉田市下吉田2-31-14
TEL.0555-22-0992 FAX.0555-22-0921



日本公庫 国民生活事業 からのご案内

日本政策金融公庫は、皆さまのための政策金融機関として、お役に立てるよう努めてまいります。

★中小企業の皆さまへ

設備資金貸付利率特例制度

国内の経済活性化につながる設備資金について、当初2年間の利率が0.5%引下げとなります。

上記制度は、平成25年3月31日までのお取り扱いとなりますので、お早目のご相談をお願いします。

セーフティネット貸付

雇用の維持・拡大を図るなど一定の要件に該当する方は、利率が基準利率より引下げとなります。

★教育資金を必要とされる皆さまへ

国の教育ローン

ご融資額 高校、短大、大学等に入学・在学するお子さまお1人につき300万円
ご返済期間 15年以内(交通通児家庭または母子家庭の方は18年以内)
お使いみち 今後1年間に必要となる費用(学校納付金、受験費用、入在学のための住居費用など)

このほか、皆さまのご要望にお応えする様々な融資制度・サービスがございます。詳しくは甲府支店 国民生活事業までお問い合わせください!!

〒400-0031 山梨県甲府市丸の内2丁目26番2号
☎055-224-5366 (お申し込み相談)

「やまなし縁結びサポート事業」 の実施について

山梨県では、結婚を希望する方々を対象に出会いの機会を提供し、結婚へのきっかけづくりとしていただくよう、市町村や企業、NPO、各種団体等が企画・実施する出会いイベント情報をメールマガジンでお届けする「やまなし縁結びサポート事業」をスタートしました。

●問い合わせ先 山梨県企画県民部県民生活・男女参画課 TEL055-223-1350

●やまなし縁結びサポーター募集中!

対 象：独身の方々の出会いの場となるパーティーや食事会、体験活動などのイベントを企画・実施していただける市町村、企業、NPO、各種団体等(ただし、宗教法人(団体)、政治団体、結婚相談等を業とされる方は除きます。)

内 容：ご賛同いただいた方を「やまなし縁結びサポーター」に登録し、実施していただけるイベント情報を県ホームページやメールマガジンで県内外に幅広く情報提供いたします。

申し込み方法

- 「登録申込書」に記入・押印のうえ事務局に持参・郵送願います。
- 「登録申込書」は県ホームページ「県政おすすめサイト・県内の結婚相談窓口」からダウンロードしてください。

●メールマガジン会員募集中!

内 容：「やまなし縁結びサポーター」が企画・実施する出会いの場となるパーティーや食事会、体験活動などの様々なイベント情報を、県に登録いただいた方々の携帯電話やパソコンに、メールマガジンとしてお届けします。

購読料：無料です。会員登録はメールアドレスだけ!

登録方法

●モバイル(携帯電話)会員

「やまなしくらしねっと(モバイル版)」の「メールマガジン・やまなし出会いイベントメールマガジン」から登録できます。

●PC(パソコン)会員

「やまなしくらしねっと」の「メールマガジン・やまなし出会いイベントメールマガジン」から登録できます。

編集 後記

3月は、新しいスタートをきるための準備期間でもあります。

何かと忙しい毎日が続きますが、体調管理には十分に気をつけて新年度を迎えましょう。

●ご意見・ご要望は、中小企業タイムズ編集班まで
TEL 055-237-3215 FAX 055-237-3216
E-mail
webmaster@chuokai-yamanashi.or.jp